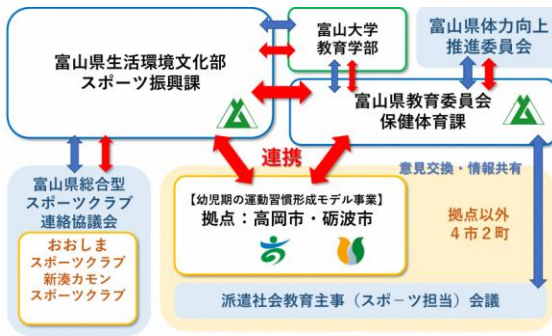


子供の運動習慣形成モデル事業

目的・背景

富山県ではスポーツ主管課である県生活環境文化部スポーツ振興課と、県教育委員会保健体育課、協力自治体及び関連団体が連携し、令和4～6年度「幼児期からの運動遊び普及事業」の結果から得られた事項や課題を踏まえて、運動に比較的関心の低い層（無関心層）へのアプローチをテーマに「幼児期の運動習慣形成モデル事業」を計画した。生涯を通じて運動に親しみ、健康に過ごすための基盤づくりにつながるよう、幼児期からの運動習慣形成を図るための取組を行う。

実施体制図



主なスケジュール

| 実施時期 | 事業項目              |                                                                                                  |                                                           |                           |
|------|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|---------------------------|
|      | (1)保護者を対象とした普及・啓発 | (2)幼児への「運動遊び」提供                                                                                  | (3)事業評価・効果検証                                              | (4)成果の報告                  |
| 6月   |                   | 運動遊び教室(高岡市)<br>29日:14時~16時 7時~9時                                                                 | アンケート項目検討・アンケート作成<br>(※教室の初回・最終回にアンケートを実施。回数は7回にアンケートを実施) | 26日:連携会議<br>29日:事業視察・情報交換 |
| 7月   |                   | 運動遊び教室(高岡市)                                                                                      |                                                           |                           |
| 8月   | 28日:運動遊び研修会(高岡市)  | 3日:あまのこ(1)施設(富山市)<br>運動遊び教室(高岡市)                                                                 | アンケート実施                                                   | 3日:事業視察・情報交換              |
| 9月   |                   | 3日:あまのこ(1)施設(富山市)<br>16日:14時~16時 7時~9時<br>23日:14時~16時 7時~9時<br>23日:あまのこ(1)施設(富山市)<br>運動遊び教室(高岡市) | アンケート実施                                                   |                           |
| 10月  | 9日:巡回指導(キャラバンに添)  | 7日:巡回指導(キャラバンに添)<br>15日:巡回指導(キャラバンに添)<br>22日:巡回指導(キャラバンに添)<br>29日:巡回指導(キャラバンに添)                  | アンケート実施                                                   | 9日:事業視察・情報交換              |
| 11月  | 27日:巡回指導(キャラバンに添) | 3日:巡回指導(キャラバンに添)<br>10日:巡回指導(キャラバンに添)<br>17日:巡回指導(キャラバンに添)<br>24日:巡回指導(キャラバンに添)                  | アンケート実施                                                   | 10日:事業視察・情報交換             |
| 12月  | 5日:巡回指導(キャラバンに添)  | 11日:巡回指導(キャラバンに添)<br>18日:巡回指導(キャラバンに添)<br>25日:巡回指導(キャラバンに添)                                      | アンケート実施                                                   | 6日:事業視察・情報交換              |
| 1月   | 30日:巡回指導(キャラバンに添) | 23日:巡回指導(キャラバンに添)<br>30日:巡回指導(キャラバンに添)                                                           | アンケート実施                                                   | 23日:事業視察・情報交換<br>26日:連携会議 |
| 2月   | 10日:巡回指導(キャラバンに添) | 運動遊び教室(高岡市)                                                                                      | 効果検証                                                      | 報告書作成<br>18日:報告会          |

ポイント

富山県では、富山福祉短期大学 小川教授、富山大学 澤准教授にアドバイザーとして指導助言を受け事業を実施した。拠点自治体担当者との情報交換や「派遣社会教育主事(スポーツ担当)会議」「富山県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」において情報提供や意見交換を行い、県内全域への「運動遊び」の普及・啓発に努めた。また、オリジナル運動遊び動画を作成し、Webアプリ「とやま元気っこチャレンジ」のミッションの充実を図った。

主な結果と考察

| 共通項目 |                                                                      | 結果   |
|------|----------------------------------------------------------------------|------|
| ア    | 「子供が活発に身体を動かして遊ぶ機会が少なく」と答えた保護者のうち、「子供が以前より活発に身体を動かして遊ぶようになった」と回答する割合 | 45%  |
| イ    | 「子供が身体を動かして1日60分以上遊ぶようになった(又は既に1日60分以上遊んでいる)」と回答する割合                 | 100% |
| ウ    | 「子供の不活動時間(スクリーンタイム等)が減少した」又は「子供の不活動時間を減らすことを意識するようになった」と回答する割合       | 64%  |
| エ    | 「子供の睡眠や食事などの生活習慣の改善を意識するようになった(又は既に意識している)」と回答する割合                   | 82%  |
| オ    | 「子供と一緒に体を動かして遊んだり、運動したりするようになった」と回答する割合                              | 73%  |
| カ    | 保護者自身の「不活動時間の減少を意識するようになった」と回答する割合                                   | 45%  |
| キ    | 「子供に運動遊びを習慣化させるための働きかけを意識するようになった(又は既に意識している)」と回答する割合                | 91%  |

- 子供の活動時間が増えたことが分かり、これは継続的に運動の機会を提供したことが運動頻度の増加につながったのではないかと考えられる。
- 座位時間を増やす要因が多い現代のライフスタイルの下で、子供の不活動時間の減少を意識する保護者が半数を超えたこと、また、保護者自身についても約半数が意識するようになったことは一定の効果があつたと推察される。
- 継続的に親子で活動を共にすることが、保護者の意識の変化をもたらしたものと考えられる。

成果と課題、今後の展望



保護者の声

成果

- キャラバン隊の普及活動により、課題となっていた県東部における、普及の足がかりができた。
- 無関心層には「楽しい」「安心」が得られるような場の設定が必要であることが確認できた。
- 普及には、ママ友の口コミ、SNSと同様に、チラシの配布も現在においても効果的であることが確認できた。

課題と今後の展望

- 無関心層へのアプローチとして、保育所等への巡回指導を行うことが効果的であるので、継続して行う。
- さらに集客が見込める商業施設等での普及啓発活動イベントを実施することで、多くの人へ周知を図る方法の検討を進めたい。
- 広報の仕方を再検討する。



## 事業の内容

## 運動遊びの重要性の普及啓発

- ・ 拠点自治体（高岡市）における運動遊び研修会では、市内保育園・認定こども園保育士等、子育て支援センター職員、児童館・児童センター職員を対象に、小川耕平氏（富山福祉短期大学教授）を講師に迎え、「アクティブチャイルドプログラム」を活用した運動遊びの研修を行った。（2回：63名）
- ・ 保育参観において、小川 耕平氏を講師に「パピプッぺぽん体操」や親子でできる運動遊びを実施し、子供達の心と身体の発達に必要な動きを楽しみながら習得した。
- ・ 保育所等への巡回指導では、県内全域に幼児期からの運動遊びについて普及・啓発を行うことができた。

- ・ 指導者向け研修会では、日頃子供と関わる指導者に、まずは楽しいと思わせる運動遊びの講習を行った。
- ・ 園の行事に併せて実施することで、運動への関心が低い保護者等に対してアプローチすることができた。また、効率的に多くの参加者を得ることができた。

## 運動遊びの提供

- ・ あそびバ! in 砺波（内容：親子でふれあい遊びやボールを使った運動遊びを体験、期日：8月3日、参加人数：親子62組）
- ・ 体育の寺子屋・親子教室（内容：“できた”の経験を通して子供達の可能性を引き出す親子教室、時期：11月～12月の5回、参加人数：親子60組）
- ・ 親子うんどうひろば（内容：親子で投げる、蹴る、転がすを体験、期日：11月16日、場所：大島中央公園、参加人数：延べ180名）
- ・ キッズムーバーズアカデミー  
富山大学会場、Enjoy! スポーツとやま2025会場  
富山市立光陽小学校こども食堂会場、小矢部元気エスティバル会場  
五福児童館会場で計9回開催し延べ500名が参加した

- ・ 単発の運動遊び教室は実施できたが、継続して取組む事業を増やす必要がある。
- ・ 広報活動では、チラシの配布をしたが、なかなかうまくいかなかったが、保護者からはチラシは必ず目を通すので効果的との声もあったため、各関係団体と連携を深め協力を得られるよう努める。
- ・ 「Enjoy! スポーツとやま2025」や「親子うんどうひろば」では、天候に恵まれ、親子での活動を楽しむ様子が見られ、好評であった。



## 意見交換会

- ・ 実施内容：実施状況や成果、課題について意見交換
- ・ 実施日時：令和8年1月28日（水）14:00～15:30
- ・ 実施場所：富山県民会館
- ・ 参加者：10名
- ・ 参加者の属性：事業に関わった講師、拠点自治体担当者、県スポーツ協会、派遣スポーツ主事、県スポーツ振興課、県保健体育課



- ・ 効果的な子供の運動習慣形成に向けた環境づくりについて意見を共有した。
- ・ 「良い指導者の発掘と育成が必要」「無関心層には楽しい時間の設定が必要」との意見をいただき、有意義な時間となった。

## 成果報告会

- ・ 実施内容：本県における事業内容の紹介、意見交換、アンケート
- ・ 実施日時：令和8年2月18日（水）13:30～15:00
- ・ 実施場所：富山県総合体育センター 会議室
- ・ 参加者：約30名
- ・ 参加者の属性：事業に関わった講師、拠点自治体担当者、総合型地域スポーツクラブ、派遣スポーツ主事、県スポーツ振興課、県保健体育課



- ・ 県内全域に普及啓発するため、現地とオンラインのハイブリッド型で開催した。
- ・ 事業内容の紹介だけでなく、本県が抱える課題についていろいろな立場の方々から意見をいただいたことで、子供達のみならず子育て世代・働き盛り世代へのスポーツ全体の盛り上がりを考える機会となったため好評であった。
- ・ 無関心層への情報伝達の方法（チラシ配布の難しさ、広報方法の改善）。
- ・ 無関心層には、行事と連動した親子活動が有効との声が多くあった。